

頭痛の検査で知った

脳動脈瘤とくも膜下出血の話

筆者は長年頭痛に悩まされ、あまりに強い症状のため専門医を受診しました。短期間に2度の検査を受け、その際に「脳動脈瘤」や「くも膜下出血」という病気の可能性について説明を受けました。検査の合間に調べてみると、これらの病気は決して遠い存在ではないことを知り驚きました（結果は幸い異常なし）。今回はその際に調べたことなどについてご紹介します。



■脳動脈瘤とは

脳の血管の一部が弱くなり、風船のようにふくらんだ状態をいいます。人口の約3%にみられるとされ、未破裂のものは症状がないことが多いですが、破裂するとくも膜下出血を引き起こし命に関わる可能性があります。

■くも膜下出血とは

くも膜下出血は、脳動脈瘤が破裂し、脳を覆う「くも膜」の内側に出血する病気です。突然の激しい頭痛や意識障害などが起こり、脳卒中の中でも死亡率が高い重い病気とされています。

■早期発見のために

脳動脈瘤は自覚症状がないことも多く、脳ドックなどの検査で見つかるケースも少なくありません。

高血圧や喫煙、家族歴などがある場合には、医師と相談のうえ定期的な検査を検討することが大切とされています。

■まとめ

筆者が検査を受けたのは約2年前のことです。当時、脳動脈瘤が人口の3%、学校の1クラスに1人の計算であれば「自分がそうであっても不思議でない」と思ったことが正直な感想で、少なからず覚悟はしました。2度の受診、検査にかかった費用は約1万円で、結果として「異常なし」でしたが、振り返ると「検査してよかった」と思いますし、検査はお勧めできると感じています。脳ドックなどでも調べることができます。気になる方は、一度検査を検討してみるのもよいかもしれません。

出典：

国立循環器病研究センター

<https://www.ncvc.go.jp/>



お客様にとって、地域 No.1 代理店を目指して

株式会社 保険デザイナー旭川

〒070-8004

北海道旭川市神楽4条6丁目1-15

TEL : 0166-74-7081

FAX : 0166-74-7082

E-mail : info@hoken-designer.jp

URL : <https://www.hoken-designer.jp>